

目次	Contents
議長選挙等	2 P
委員会報告等	2 ～ 3 P
一般質問	4 ～ 10 P
議案の審議結果	11 P
次回定例会日程	12 P



高校を核とした地域人材育成事業オリジナル探究活動
「押しグルメ開発プロジェクト」報告会（12月26日 市民会館会議室）

第4回定例会を開催 ～12月2日から12月19日まで～

本定例会では議長選挙、議会運営委員会委員の選任を行ったほか、条例関係・補正予算・人事案件など議案27件、諮問4件、請願1件及び発議2件を審議しました。また、14人が一般質問を行いました。審議結果は11ページをご覧ください。

議会の動き

10月

- 2日 埼玉県北本市議会視察来市
- 11日 建設産業常任委員会協議会
山形県天童市議会視察来市
- 17日 糸魚川・大町二市議会議員連絡協議会
東京都練馬区議会視察来市
- 24日 宮城県大崎市議会視察来市
- 25日 議会運営委員会市外調査
- 28日 市民厚生常任委員会市外調査（～30日）
岐阜県関市議会視察来市
- 31日 広島県庄原市議会視察来市

11月

- 1日 茨城県石岡市議会視察来市
- 5日 総務文教常任委員会
- 6日 埼玉県新座市議会視察来市
- 8日 議会運営委員会
全員協議会
糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会
- 11日 小千谷市議会視察来市

- 13日 市民厚生常任委員会協議会
市民厚生常任委員会
- 14日 糸魚川市・白馬村・小谷村議会議員連絡協議会
- 15日 上越三市議会議員合同研修会
- 20日 建設産業常任委員会
- 21日 議会運営委員会市外調査（～22日）
- 25日 議会運営委員会
- 29日 市議会議員研修会
議会運営委員会

12月

- 2日 本会議（初日）
建設産業常任委員会
議会運営委員会
- 5日 議会運営委員会
- 6日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）
- 12日 市民厚生常任委員会
- 13日 総務文教常任委員会
- 16日 建設産業常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 本会議（最終日）

議長に保坂悟議員を選出

議会運営委員長に古畑浩一委員、建設産業常任委員長に利根川正委員、同副委員長に田原洋子委員が就任



保坂 悟
議長

【略歴】

- ・副議長
- ・総務文教常任委員長
- ・建設産業常任委員長
- ・コンプライアンス調査推進特別委員長
- ・予算審査特別委員長
- ・決算審査特別委員長

【投票結果】

投票総数18票（有効投票16票）
 ●有効投票のうち
 保坂悟12票、古畑浩一2票、
 横山人美1票、田原洋子1票



古畑 浩一
議会運営委員長



利根川 正
建設産業常任委員長



田原 洋子
建設産業常任副委員長

市長選挙に立候補を表明した議員に対して同じ会派に所属していた議員が行った発言等について、議会運営委員会内で発足した調査チームが昨年9月、「ハラスメントが確認された」との報告を行いました。これを受けて12月2日、同会派の所属議員であった松尾徹郎議長から議長の辞職願が提出され、同日の本会議において許可されました。この後、議長選挙を行い、保坂悟議員が議長に選出されました。

同会派所属の宮島宏議員も議会運営委員長の辞任を表明し、また、和泉克彦議員は11月8日に議会運営委員を辞任したことから、12月2日の本会議で古畑浩一議員が新たに委員に選任されました。その後開催された議会運営委員会において宮島委員長の辞任が許可され、互選により古畑委員が委員長に就任しました。

また同日、保坂議長が議長就任に伴い建設産業常任委員長の辞意を表明したことから、建設産業常任委員会が開催され、委員長の辞任が許可された後、互選により委員長には利根川正副委員長が就任し、空席となった副委員長には新たに田原洋子委員が就任しました。

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

各常任委員会に付託された議案の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告より抜粋）は次のとおりです。

総務文教常任委員会

12月13日に条例の制定6件、その他の議案2件、補正予算1件、請願1件を審査し、「第3期糸魚川市子ども・子育て支援事業計画(案)について」、「保育園等の適正配置と民営化に関する方針について」、「(仮称)駅北子育て支援複合施設整備事業について」、「市内中学校で発生したいじめ事案に係る経過について」の所管事項調査を行いました。

○糸魚川市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

質疑 近年の職員の採用状況について伺う。

答弁 全国的に公務員離れが進んでおり、当市においても応募者、特に新卒の応募が少なく、社会人経験者の方も含めて、現在も募集を行っている状況である。

建設産業常任委員会

12月16日に条例の制定6件、その他の議案4件、補正予算1件を審査しました。

○生活交通確保対策事業＜一般会計補正予算＞

質疑 燃料価格及び車両修繕費の増加等により市内路線バスの運行事業者への補助金を増額することについて、稼働年数の長い車両も多いが、今後は中型・小型バスにシフトするなど、燃料費等の経費節減を図る方策について事業者と協議を行っているか。

答弁 稼働年数20年以上の車両が28台中13台あり、中古車を購入して車両をやりくりしている状況である。バスの利用者は年々減少しており、事業者には利用状況に見合った大きさの車両で運行するようお願いしている。



市民厚生常任委員会

12月12日に条例の制定2件、その他の議案1件、補正予算4件を審査し、「第5次糸魚川市犯罪のない安全・安心なまちづくり推進計画について」の所管事項調査を行いました。

○医療人材確保対策事業＜一般会計補正予算＞

質疑 経営改革を進める糸魚川総合病院に対し、医療体制の維持につなげるため、人材確保対策として補助金を交付しているが、他の自治体より率先して市が実施する理由について伺う。

答弁 医療に従事する人材を市内で賄えず、他の地域から勤務する方も多い。厳しい待遇により離職し、地元に戻る方もいると聞いている。引き続き地域医療を守っていただきたいという考え方から、今回、支援を行いたいものである。

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

10月25日(市外調査)

- ◎ 災害時における市議会及び議員の行動について(上越市)

10月25日

- ◎ 市外調査の集約について

11月8日

- ◎ 議会運営について

11月21日～22日(市外調査)

- ◎ 政治倫理条例について(長野県諏訪市)
- ◎ 議会改革の取組について(長野県駒ヶ根市)

11月25日

- ◎ 第4回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎ 請願・陳情の付託について
- ◎ 委員長報告について
- ◎ 令和6年度予算議会費の補正について
- ◎ 令和7年度予算議会費の要求について
- ◎ 議会運営について
- ◎ 市外調査の集約について

11月29日

- ◎ 議会運営について

12月2日

- ◎ 議会運営について

12月5日

- ◎ 議会運営について

12月18日

- ◎ 委員長報告について
- ◎ 議員発議について
- ◎ 閉会中の継続調査の申出について
- ◎ 3月定例会の会期及び日程(予定)について
- ◎ 議会運営について

閉会中の所管事項調査

常任委員会が定例会の会期以外に行う調査です。

総務文教常任委員会

9月30日～10月1日(市外調査)

- ◎ ファシリティマネジメントの取組について(千葉県佐倉市)
- ◎ 子育ての支援施設の整備、運営について(長岡市)

11月5日

- ◎ (仮称) 駅北子育て支援複合施設について
- ◎ 市外調査の集約について

建設産業常任委員会

11月20日

- ◎ 糸魚川ジオステーションジオパル鉄道ジオラマ修繕委託契約不適合履行追完について
- ◎ 糸魚川市地域公共交通計画(案)の策定について
- ◎ 簡易水道の料金改定について

市民厚生常任委員会

10月28日～30日(市外調査)

- ◎ 書かない窓口について(静岡県裾野市)
- ◎ 動物の愛護及び管理に関する条例の制定について(埼玉県草加市)
- ◎ 高齢者みんな健康プロジェクトについて(東京都練馬区)

10月30日

- ◎ 市外調査の集約について

11月13日

- ◎ 社会福祉施設の現状と課題について

委員会協議会

常任委員会の所管に係る事項その他問題について協議する事実上の会議です。

◆建設産業常任委員会協議会(10月11日)

- ◎ 水産業の現状と課題について

◆市民厚生常任委員会協議会(11月13日)

- ◎ 社会福祉施設の現状と課題について

田原 実



議員



問 医療と防災のまち、市民が安心して住めるまち糸魚川へ！

質問

- (1) 市長が繰り返し答弁されてきた糸魚川市に必要な医療とは何か。また、選挙公約としていた看護師育成機関の設置は進んでいるのか。
- (2) 防災対応について、県との連携の状況はどうか。いざというときに救済チームは派遣されるか。

答弁

- (1) 当市の地理的条件から、救急医療を中心とした、地域内で一定程度完結できる医療体制が必要であると考えている。看護学校については、近隣の学校等を調査し、検討してきたが、現状では実現の見通しは立っていない。
- (2) 災害発生時には、チームにいがたや他県の自治体、また、国の緊急災害対策派遣隊などによる支援体制が整えられている。

問 スポーツ交流、文化交流、鉄道で人を呼ぶ仕掛けで糸魚川を元気に！

質問

- (1) スポーツ振興、スポーツ交流について、市民や各種団体との連携・協働で成果は出ているか。
- (2) 文化振興、文化交流について、市民や各種団体との連携・協働で成果は出ているか。
- (3) 鉄道で駅とまちに人を呼ぶ仕掛けなどの取組について何う。

答弁

- (1) 競技団体やスポーツ協会、スポーツ推進委員などと連携し、スポーツフェスティバルや駅伝競走大会などに取り組むことで、生涯スポーツへの理解や、参加者の交流促進につながると捉えている。
- (2) 博物館やフォッサマグナパークは来客数が好調であり、また、ヒスイシンポジウムなどのアンケート結果では満足度が高くなっていることから、成果は出ているものと捉えている。
- (3) 大糸線では、沿線自治体や事業者などと一体となって利用促進に取り組んでいるところであり、えちごトキめき鉄道では、ラッピング列車など鉄道に親しんでいただく取組なども進めている。

その他の質問項目

○駅北子育て支援複合施設の必要性、市民・住民との合意形成について

保坂 悟



議員



問 防災・減災について

質問

- (1) 小中学校体育館等のエアコン設置の検討状況について何う。また、災害時の対応として、LPGガス（プロパンガス）を併設することで、停電時にも対応できるようにすることは検討しているか。
- (2) 地震火災の約6割は電気が原因とされるが、地震ブレーカーの周知及び補助制度導入の考えはないか。
- (3) 自動車での避難を想定した津波避難道の整備計画を考えているか。

答弁

- (1) 今年度、県内の小中学校で導入された移動式エアコンを視察した。来年度に向け、一部の学校での試行的導入を検討している。また、LPGガスの併設については、今後の研究課題と捉えている。
- (2) 補助制度の導入について、引き続き調査・研究していく。
- (3) 自動車避難は避難方法の一つとして捉え、検討している。

問 「誰一人取り残さない」SDGsの取組について

質問

- (1) 難病指定に至らないが、災害時の避難や日常生活に支障をきたすような方に、精神障害者保健福祉手帳交付への専門的なアドバイスはできないか。
- (2) 未婚者による老々介護や、引きこもり世帯の老々介護に対する支援について何う。
- (3) 大人の発達障害について、専門家による相談窓口の設置が必要ではないか。

答弁

- (1) 難病指定の有無にかかわらず、何らかの障害により日常生活に支障がある場合は、医療機関や障害者相談支援事業所の専門職が相談に応じている。
- (2) 現在実施している介護家族への支援制度の中で、地域包括支援センター等の関係機関と連携して、引き続き、支援していく。
- (3) 大人の発達障害の相談窓口として、「発達障害ナビポータル」を紹介しているほか、福祉事務所や障害者相談支援事業所の専門職が相談に応じている。

その他の質問項目

- 学校図書館の体制強化について
- 行政改革について

伊藤 麗



議員



問 誰でもいきいき働く環境の整備の必要性について

質問

- (1) 若者や女性の働きやすい職場について、市としての認識を伺う。
- (2) 障がいのある方の働く環境について、現状の認識と課題を伺う。
- (3) シニアが働き続けるために市が実施している支援について伺う。

答弁

- (1) それぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会であると認識している。
- (2) 現状では、法定雇用率は国・県の平均を上回る高い水準で推移している。一般就労では、小規模企業におけるサポート人材の不足や通勤手段の確保、福祉的就労では、本人のやりがいと生活全般の意欲向上が課題と捉えている。
- (3) シルバー人材センターや高等職業訓練校に対して支援を行っている。

問 子育て支援について

質問

- (1) こども家庭センターの包括的な支援体制の強化・拡充について、取組状況を伺う。
- (2) 自立支援の強化について、取組状況を伺う。
- (3) 里親支援センター設置の考えはあるか。

答弁

- (1) 国に先駆けてこども課内にこども支援室を設置し、全ての妊産婦と子ども・子育て世帯に対して、一体的に相談支援を行う体制を整えている。現在、子育て世帯ヘルパー派遣事業や産後ケア事業などの支援メニューを充実させ、支援体制の強化・拡充に努めている。
- (2) 里親委託や児童養護施設等への入所児童の自立支援に向けて、児童養護施設の運営主体や児童相談所が支援しているところであり、市も連携して対応している。
- (3) 里親制度の窓口は、上越児童相談所が担っていることから、当市で設置する考えはない。

その他の質問項目

○地域医療について

和泉 克彦



議員



問 糸魚川市と台湾との関係について

質問

現在、当市と台湾はジオパークでのつながりがあるが、観光・文化・スポーツ・教育など、ジオパーク以外の分野での台湾との関係強化について、市の考えを伺う。また、台湾の都市との交流・連携について、市の考えを伺う。

答弁

令和6年6月、台湾ジオパークネットワークと締結したフレンドシップ協定において、教育、防災、国際交流など包括的な連携を進めることとした。

観光では、北アルプス日本海広域観光連携会議などによる、台湾旅行社へのトップセールスや現地商談会に参加し、サイクリングなどのアクティビティや食材・ヒスイ等をPRするなど、誘客促進を図っている。

また、新たな展開を図るため、台湾との友好都市のあり方を検討し、ジオパークによる交流を活かした取組につなげていきたいと考えている。

問 糸魚川市における地域公共交通の現状と課題について

質問

- (1) 大糸線増便バスの途中経過と今後について伺う。
- (2) 令和6年8月1日～10月12日に行われた電動キックボードやレンタサイクルの社会実証の結果と今後について伺う。
- (3) 令和7年度からの「糸魚川市地域公共交通計画（マスタープラン）」案について、「目指す将来の交通網イメージ」の路線バス以外のエリアにおいては「共助」による移動手段の確保とあるが、高齢化・運転手不足の中、中山間地域における「共助」が成り立つものなのか、市の考えを伺う。

答弁

- (1) 令和6年6月から10月までの利用者は9,410人であり、12月から白馬八方バスターミナルを経由するなど、ウインターシーズンの利用促進に向けて取り組んでいる。
- (2) 実証実験期間中に電動キックボード27人、レンタサイクル12人の利用があり、現在、移動経路などを分析中である。その結果を基に、今後の二次交通等の対策に生かしていく。
- (3) 共助を含む、地域の実情を踏まえた、より良い交通手段について、住民の皆さんと協議する中で検討していく。

利根川 正 議員



問 JA新潟厚生連糸魚川総合病院の医療体制の確保について

質問

- (1) 医師、看護師の人材不足の中、JA新潟厚生連の職員等の賞与が下げられるような状況では、更なる看護師、事務員の不足が生じるものと考えられるが、市の考えを伺う。
- (2) 県内で11病院を運営するJA新潟厚生連の経営危機に、県は財政支援の方向で検討に入ったが、市はどのように捉えているか伺う。
- (3) 市も糸魚川総合病院の経営改善計画を分析し、改善を進めていくべきだと考えるが、市の見解を伺う。

答弁

- (1) 看護師などの医療従事者は医療を支える要であり、安定した医療体制の維持に支障が生じることのないよう、必要な支援を行っていく。
- (2) 県内において平等な医療体制を維持することが、県の責務であると捉えている。
- (3) 単に経費削減を目的とする経営改善計画ではなく、将来にわたって持続可能な地域医療を提供できることを確認しながら、連携して取り組んでいく。

問 令和6年度の稲作の現状と安定供給について

質問

- (1) 60kg 当たり19,100円となった令和6年の米の概算金(仮払金)について市はどう考えているか。
- (2) 令和7年度の主食用米の作付面積の傾向と、米農家の現状を、市はどのように捉えているか。
- (3) 米価の値上げに伴い、今後、若い農業従事者を増やすための方策について伺う。

答弁

- (1) JAが、米の需要や販売価格に応じて適正に設定したものと捉えている。
- (2) 高齢化及び担い手の不足により、作付面積は減少傾向と捉えている。
- (3) 所得の向上とともに、ほ場整備やスマート農業の導入により、農作業の効率化を図り、新規就農者の確保に努めていく。

その他の質問項目

○防災減災の実施に向けた取組について

東野 恭行 議員



問 糸魚川市におけるUターン施策について

質問

- (1) Uターン者の理由や動機について、市はどのように分析しているか。
- (2) 市内の賃貸物件に入居するUIターン者に家賃を補助する制度があるが、高卒で市内に就職し、一人暮らしを検討している者に対して家賃補助を行う考えはないか。
- (3) 将来、市内で医療や介護分野の業務に従事しようとする学生に対して、修学資金を貸与し、一定条件を満たした場合、その返還を免除する制度があるが、修学資金の利用状況と、Uターンの見込みにについて伺う。
- (4) UIターン修学資金返済支援事業補助金の利用実績と、制度利用者の今後の見通しについて伺う。

答弁

- (1) 転入手続の際に理由を調査しており、Uターンする理由の大半が「仕事のため」となっている。このことから、就職・転職・起業等が転機となっていると分析している。
- (2) 現時点では検討していない。
- (3) 医療分野については、平成17年3月の合併以降144人の利用があり、Uターンする見込の方も含め約6割が市内に就職している。介護分野については、平成27年度の事業開始以降20人の利用があり、そのうち14人が地元で就職しているが、令和5年度以降は利用者がいない状況となっている。
- (4) 令和4年度は40件、昨年度は34件、今年度は29件の利用があった。若干減少傾向にあるが、一定の効果があるものと捉えており、引き続き取り組んでいく。

問 新成人を祝う会について

質問

令和6年11月4日に開催された新成人を祝う会の状況と、来年度の開催について伺う。

答弁

本年の新成人の参加者は19人であった。市内3高校と相談しながら開催時期を決定したが、新成人の参加にはつながらなかったことから、今後の開催方法について改めて検討していく。

その他の質問項目

○公共工事入札の不調・不落の原因と対応策について

田中 立一

議員



問 防災について

質問

- (1) 液状化被害を受けた住宅は最終的に何件あったか。今後、液状化のおそれのある地域への対応はどのように考えているか。
- (2) 避難施設の収容数を超えた場合の対応について何う。
- (3) 能登半島地震では「水」が使えることの重要性・公共性が改めて認識されたが、市内の上下水道の耐震化の状況について何う。

答弁

- (1) 被害を受けた住宅は6件で、現在、国と連携し、被災した地域を中心に調査を行っている。今後、被災地域以外の調査について、手法も含め検討を進めていく。
- (2) 避難者が収容数を超える見込みとなった段階で、避難所を順次開設する対応を行っている。
- (3) 令和5年度末の上水道基幹管路の耐震化率は38%、簡易水道は46%、下水道の重要な幹線は52%である。一体的に耐震化を推進するため「上下水道耐震化計画」を策定中である。

問 農業政策について

質問

- (1) 新潟県農業再生協議会は、米の品薄を受け、本年産目標を16,400トン上回る56万2,400トンにすると公表した。市は令和6年、県内で唯一、前年より目標を下に設定したが、来年度の目標について市の考えを何う。
- (2) 第6期中山間地域等直接支払制度について、第5期との違いと第6期の取組状況について何う。

答弁

- (1) 県の方針に基づき、生産量を引き上げるよう、関係機関と連携を図り、収量及び品質の確保について、生産者へ周知していく。
- (2) 第6期制度では、ネットワーク化とスマート農業の加算措置が創設されると聞いている。各協定の実情を踏まえ、必要とする加算措置の活用を周知していく。

その他の質問項目

○古民家について

近藤 新二

議員



問 糸魚川市が管理する遊具の管理状況について

質問

全国的に、公園や施設の遊具には安全基準を満たしていない遊具が存在すると言われている。また、遊具は経年や雨風により劣化し、けがや事故につながる危険も高まっていくが、そのような遊具を早期に発見し、重大な事故につながる危険を取り除くためには、的確な点検が必要である。市が管理する「公園」「保育園・幼稚園」「小学校」等の遊具について、どのように維持管理を行っているか。

答弁

都市公園や市民公園の遊具は、有資格者により年1回定期点検を実施するとともに、計画的に修繕・更新している。人が多く訪れるゴールデンウィーク前などは、職員が直接公園を見回り、安全点検を実施している。

また、幼稚園・保育園と小学校では、定期的に目視等で遊具点検を行っており、使用に危険があると判断される場合は修繕等を行うなど、安全管理に努めている。



問 糸魚川市役所における喫煙所の適正な位置について

質問

健康増進法の一部を改正する法律が令和元年7月1日に施行され、行政機関などの敷地内禁煙の義務化により、当市においても市役所及び市民会館等の敷地内において禁煙の措置が取られた。

同法は屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置が取られた場所に喫煙場所を設置することができるとなっており、来庁者・市民会館利用者等の現状を鑑みれば喫煙場所の設置の必要性も感じられるが、現状をどのように捉えているか。

答弁

望まない受動喫煙の防止を図るため、令和元年7月から、駐車場も含め市役所本庁舎等の敷地内を全面禁煙としたところであり、来庁者、利用者の皆さんからご理解をいただいていると認識している。

新保 峰孝

議員



問 人口減少・少子高齢化対策について

質問

- (1) 人口減少が進む中、子供を産み育てる環境づくりとして、子育て支援施策、住宅施策、魅力ある教育、子育て世代への柔軟な就労の場づくりに取り組む自治体もある。このような施策について市はどのように考えているか。
- (2) 子育て支援策の一つとして、学校給食の無料化を検討すべきではないか。
- (3) 高齢化が進む中、運転免許返納後の移動手段、公共交通網等の維持をどのように考えているか。

答弁

- (1) 当市においても様々な世代の声を聞きながら、第3次糸魚川市総合計画に掲げる持続可能なまちづくりを目指して、人口減少対策と住み続けたいなるまちづくりの両面から取組を進めている。
- (2) 食材の実費は、引き続き、保護者から負担いただきたいと考えている。
- (3) 公共交通網の維持は非常に重要と捉えているが、利用者の減少や運転手不足などの課題もあり、共助を含め、地域の実情を踏まえた、より良い交通手段について、住民の皆さんと協議する中で検討していく。

問 地域医療構想と糸魚川市の医療について

質問

- (1) 新潟県では、医師の絶対数が足りないため、医療の必要度が高い高度救命救急医療の病院に医師の集中が起きている。その結果、県内の人口の多い自治体で医師が増加し、他の自治体では減少していると言われているが、どう捉えているか。
- (2) J A新潟厚生連病院の経営再建に関連して、市内の医療体制が弱体化することは避けなければならないと考えるが、市の見解を伺う。

答弁

- (1) 新潟県地域医療構想に基づく医療圏ごとの再編の中で、各病院の機能や規模に加え、人材確保に向けた仕組みづくりが必要であると捉えている。
- (2) 今後も当市に必要な医療体制が確保できるよう、医師会や病院と連携し、取り組んでいく。

その他の質問項目

○入札改革について

加藤 康太郎

議員



問 新しい「県立高校の将来構想」について

質問

- (1) 「スクールミッション」、「新しい普通科」の設置、産業高校の「キャンパス制」の導入、「遠隔教育配信センター」の開設、「セルフデザインハイスクール」（新たな定時制・通信制）など、多岐にわたる魅力と活力ある学校づくりに向け示された新しい「県立高校の将来構想」（案）について、市の所見を伺う。
- (2) 令和6年度の高等学校等入学状況調査の結果も踏まえ、新しい「県立高校の将来構想」の策定に向け、県教育委員会と、市内3高校のあり方について協議・連携をしていく考えはないか。
- (3) 新しい「県立高校の将来構想」の下でも、市は市内3高校を堅持していく考えは変わらないか。
- (4) 「高校を核とした地域人材育成事業」（高校魅力化・産学官コーディネーターの配置）について、市内3高校への取組実績と評価を伺う。
- (5) 市内3高校の魅力と活力ある学校づくりを支援する、公民連携の「コンソーシアム体制」の構築は必須と考える。この体制の構築・運営のみならず、大学のサテライトキャンパス等の高等教育の誘致も視野に入れた「政策監」又は「産官学労言推進企画幹」を採用する考えはないか。
- (6) 令和4年度の重点施策として教育の推進で掲げられた「公営塾開設に向けた取組」の状況について伺う。

答弁

- (1) 生徒の学習ニーズの多様化に対応した、高校の特色化、魅力化を図る取組と捉えている。
- (2) 機会を捉えて協議、連携を求めている。
- (3) これまでも市内3高校の魅力化の取組を行ってきており、引き続き支援していく。
- (4) 糸魚川高校では、総合的な探究の時間のカリキュラム作成や伴走支援・志望理由書作成講座・面接指導・自習室の運営など、糸魚川白嶺高校では、キャリア探究・インターンシップ・地域理解学習・防災フォーラム等の伴走など、海洋高校では、志望理由書作成講座・キャリア探究・自習室の運営など、多岐にわたって関わっている。評価については、今年度末までに教員、生徒を対象に実施するアンケートで検証する予定としている。
- (5) 高校と地域をつなぎ、魅力ある教育環境を作る役割としてコーディネーターを配置しており、現時点では「政策監」等の採用は考えていない。
- (6) 現在、各高校の要望を踏まえながら、民営塾に配慮し、自習室という形で開設している。

阿部 裕和

議員



問 未満児保育の体制について

質問

- (1) 未満児保育対象者のうち、未満児保育を希望する件数・割合・受入状況について、0歳児、1歳児、2歳児ごとの状況を伺う。
- (2) 希望する保育園に入園できない事案があるが、入園できなかった保育園数とその理由、また、この事案に対する市の見解を伺う。
- (3) 保育所等の民営化の検討（あり方検討）の進捗状況について伺う。

答弁

- (1) 今年度の未満児保育希望者は、0歳児が73人、1歳児が114人、2歳児が141人であり、申込みのあったすべての未満児を受け入れている。また、学年別の入園割合は0歳児で57%、1歳児で79%、2歳児で83%となっている。
- (2) 今年度定員を超過した園は2園あった。利用定員を超えた申込みがあること、保育士の確保ができないこと等の理由から、第2希望等の他の園の利用をお願いしている。待機児童を出さないためにも、他園への入園調整を行うことはやむを得ないものと考えている。
- (3) 私立園を運営する社会福祉法人の理事や公立園保護者会の役員との懇談会を行ったほか、民営化の先進地視察を行っており、今年度中に基本方針を策定し、公表する予定としている。

問 書かないワンストップ窓口の推進について

質問

- (1) お悔やみコーナー（お悔やみワンストップ窓口）設置のメリット、デメリットについて伺う。
- (2) 出生ワンストップ窓口設置に向けた試行の実施で見えてきた課題について伺う。

答弁

- (1) 利用者は、予約制のため待ち時間がなく1か所で手続きができるメリットがあり、職員にとっても事前に準備ができることから、更なる利便性の向上に努めていく。
- (2) 受付環境などの課題があるが、実施に向けて検討していく。

その他の質問項目

○特別養護老人ホームの存続について

渡辺 栄一

議員



問 観光産業への活性化策について

質問

- (1) 新型コロナウイルス感染症の5類への移行後、当市を訪れる観光客の動向はどのような状況にあり、また、どのように市は分析しているか。
- (2) 4月13日から10月13日まで開催の大阪・関西万博において、ヒスイ原石を展示することだが、効果的な展示の工夫をどのように考えているか。
- (3) 市内スキー場に対して、通年での利用促進策を進めていくには、どのような考えがあるか。
- (4) マリンドリーム能生等を含む道の駅エリアの展望について、どのように考えているか。

答弁

- (1) 観光客や鉄道利用者は増加しており、人の流れはコロナ禍前の状況に戻りつつあると感じている。
- (2) 県や万博協会、展示業者と連携しながら、ヒスイの価値や魅力が伝わる展示を検討していく。
- (3) グリーンシーズンの集客が課題であり、ゲレンデ等の活用について指定管理者と協議していく。
- (4) 多くの観光客が訪れる主要な施設であり、維持管理や整備等を計画的に進めていく。

問 当市の諸課題について

質問

- (1) 人口減少と高齢化が課題となっているが、当市の人口減少対策プロジェクトとしては、どのような提言を考えているのか。
- (2) 今冬は降雪量が多いとの予報であるが、消雪パイプの不具合は解消されていると判断してよいか。
- (3) 今後、政府は物価高騰や光熱費等を緩和させる政策を行う予定のようだが、市としての考えを伺う。

答弁

- (1) 現在取り組んでいる事業の分析や、先進事例の調査などを行い、新年度の事業展開に向けて検討を進めている。
- (2) 冬期前点検を実施し、不具合箇所を修繕している。不具合が生じた場合は、速やかに対応していく。
- (3) 国の情報を注視し、必要な事業に取り組んでいく。

その他の質問項目

○農業を取り巻く環境について

田原 洋子

議員



問 教育相談センターと適応指導教室ひすいルームについて

質問

- (1) ひすいルームに通っている児童生徒数を伺う。
- (2) ひすいルームに通っていた児童生徒は、再登校や進学につながっているか。
- (3) 能登半島地震で被災した教育相談センター内にあったひすいルームは、現在、市民図書館内で開設されているが、これは一時的なものか。それとも図書館内に移転する考えか。
- (4) 教育相談センターの修繕は行うのか。
- (5) 市民図書館以外に移転先の検討は行ったか。
- (6) 市民図書館内でひすいルームを開設していることに不都合はないか。

答弁

- (1) 令和6年度は7人である。
- (2) 教室復帰や別室登校等につながっている生徒がいる。また、多くの生徒は高校に進学している。
- (3) 現時点では、一時的なものとして考えており、移転先等については今後も検討していく。
- (4) 現時点では、修繕は考えていない。
- (5) 市の施設や空き物件等を調査したが、現時点では、適当な物件は見つかっていない。
- (6) 現状では、大きな不都合はないと考えている。

問 糸魚川市のキャンプ場について

質問

- (1) 美山キャンプ場のインターネットによる予約システムの導入の検討状況について伺う。
- (2) ヒーリングガーデンたかなみ（高浪の池）で携帯電話は使用できるようになったか。
- (3) 荒崎キャンプ場の水はけのよくないサイトの改善状況について伺う。

答弁

- (1) インターネット予約は導入していないが、市民の利便性の向上と行政事務の効率化を図るため、公共施設共通のインターネット予約システムについて調査・研究している。
- (2) 携帯電話の不感地帯であるため、Wi-Fiにより通信環境を確保している。
- (3) 土壌を改良し、転圧整地する改修を行った。

その他の質問項目

○各地区の交流と活性化について

古畑 浩一

議員



問 市内中学校いじめ事件に対する学校現場及び教育委員会の対応について

質問

- (1) いじめ・不登校の推移と現状、対応について伺う。
- (2) タブレット紛失に端を発した一連のいじめ事件の概要及び教育委員会、学校側の対応について伺う。
- (3) 令和6年7月31日に開催された総務文教常任委員会では重大事態ではないと報告されたが、その後、重大事態とされ、追加調査を行うこととなった経緯を伺う。

答弁

- (1) いじめの認知件数は、令和4年度は100件、昨年度は137件、今年度は10月末現在で77件である。各学校で継続的に児童生徒の人間関係を把握したり、アンケート調査を行うなど、未然防止、早期発見、即時対応に努めている。また、不登校児童生徒数は、令和4年度は49人、昨年度は72人、今年度は10月末現在で54人である。不登校については、校内及び校外適応指導教室での支援や、家庭訪問等を行い、一人ひとりに応じた支援に努めている。
- (2) いじめ問題専門委員会の調査報告で、教育委員会及び学校の初期対応に不備があったとの強い指摘を受けている。
- (3) いじめ問題専門委員会による調査終了後、状況に変化があったため、重大事態として捉え、追加調査を行っている。

問 旧東北電力ビル解体工事4度の入札不調はということなのか

質問

- (1) 入札不調の原因は何か。
- (2) 駅北子育て支援複合施設の建設日程に支障はないか。また建設費、年間維持管理費等、増額のおそれはないか。

答弁

- (1) 現時点では答えることができない。
- (2) 解体工事が遅れた場合は、本体工事の工期等への影響が懸念される。また、工期が延長された場合には、整備費などが増額となるおそれがある。

その他の質問項目

○市長選出馬について

議案の審議結果

第4回定例会
(12月2日～12月19日)

番号等	件名	結果
議案第81号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度糸魚川市一般会計補正予算(第3号))	承認
議案第82号	糸魚川市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第83号	糸魚川市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第84号	糸魚川市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第85号	糸魚川市職員の寒冷地手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第86号	糸魚川市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第87号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
議案第88号	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	可決
議案第89号	損害賠償額の決定及び和解について	可決
議案第90号	糸魚川市糸魚川ジオステーションジオパル条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第91号	糸魚川市スキー場条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第92号	糸魚川市白馬山麓国民休養地条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第93号	糸魚川市集合施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第94号	糸魚川市簡易水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第95号	糸魚川市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第96号	財産の譲与について	可決
議案第97号	字の変更について	可決
議案第98号	字の変更について	可決
議案第99号	市道の認定について	可決
議案第100号	糸魚川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第101号	糸魚川市障害者地域活動支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第102号	指定管理者の指定について(糸魚川市斎場及び能生火葬場)	可決
議案第103号	令和6年度糸魚川市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第104号	令和6年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第105号	令和6年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第106号	令和6年度糸魚川市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第107号	教育長の任命について	同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め 答申
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め 答申
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め 答申
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め 答申
請願第5号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に係る意見書の採択を求める請願	みなし 採択
発議第8号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に係る意見書	可決
発議第9号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	可決

議員研修会

○上越三市議会議員合同研修会

11月15日(ヒスイ王国館)

内容:「これからの地方創生～田中角栄元総理からの伝言～」

講師:小田 敏三氏(株式会社新潟日報社相談役)



○市議会議員研修会

11月29日(市民会館会議室)

内容:「真の地方創生と地方議会への期待」

講師:片山 善博氏(大正大学地域構想研究所長)



議会交流

○糸魚川・大町二市議会議員連絡協議会

10月17日(長野県大町市)

研修内容:「北アルプス国際芸術祭2024について」

○糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会

11月8日(富山県朝日町)

研修内容:「ICT教育の推進と国の部活動改革の動向について」

○糸魚川市・白馬村・小谷村議会議員連絡協議会

11月14日(長野県小谷村)

研修内容:「捨てるものからビジネスをつくる」

人事案件

各種委員の選任等について、市長から同意や意見を求められたものに対して、議会で審議し、同意や答申をします。

教育長の任命

現教育長の任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

つるもと しゅういち
鶴本 修一 さん（再任・田海）

任期 令和7年1月1日から3年間

人権擁護委員候補者の推薦

現委員の任期満了に伴い、次の方が推薦されましたので、適任と認め、答申しました。

わたなべ ひさとし たむら
渡邊 寿敏 さん（新任・東寺町） 田村 ゆかり さん（再任・平牛）
すぎの たかし まるやま きょうこ
杉野 尚 さん（新任・大沢） 丸山 京子 さん（新任・平）

任期 令和7年4月1日から3年間

議会を傍聴
しませんか？

3月 市議会定例会の会期及び日程（予定）

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17 本会議 (初日)	18	19	20 議会運営 委員会	21 本会議 一般質問	22
23	24	25	26	27	28 総務文教 常任委員会	3/1
		本会議 一般質問				
2	3	4 建設産業 常任委員会	5 市民厚生 常任委員会	6 予算審査特別委員会	7	8
9	10 予算審査特別委員会	11	12	13 議会運営 委員会	14 本会議 (最終日)	15

- 本会議は6階議場、委員会は6階第二委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議（議場）の傍聴席入口は7階です。市役所正面玄関に入って左側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。



議場の傍聴席



第二委員会室の傍聴席



受付簿

※3月定例会で議題とする請願・陳情は、2月7日(金)までに提出されたものになります。
詳しくはお問合せください。

インターネットで市議会の模様を配信しています。

市議会の生中継映像（本会議）と録画映像（本会議・予算審査特別委員会）を配信しています。



生中継配信



録画中継配信

← スマートフォンかタブレットで読み取ってください。

